

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:山形県酒田市

1. 事業名	酒田市地域女性活躍推進事業									
2. 実施期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日									
3. 事業の趣旨・目的	本市においては、20代から50代の女性の就業率は7割を超えているが、非正規雇用者の割合が高く、平均賃金も男性よりも低い。管理職の割合も低いため、事業主に対する働きかけが重要であり、引き続き酒田市女性活躍推進懇話会において情報を共有し、本市に合った効果的な事業を協議し連携して推進していく。女性が働きやすい職場環境づくりを促進するため事業主への働きかけを行うとともに、女性活躍の必要性を伝えるためのセミナーを開催する。また、働くことや管理職となることに自信が持てない女性自身に対して具体的なイメージを持ってもらうため、セミナーの開催やロールモデルの発信により不安解消に努める。									
4. 事業内容	①女性活躍推進事業 市内関係機関(国(ハローワーク酒田)、県(庄内総合支庁)、酒田商工会議所、女性農業者団体、個人事業主、有識者等)で組織する女性活躍推進懇話会を開催し、意見交換や効果的な施策についての検討を行った。 また、企業経営者の理解促進を目的とした事業主向けセミナーの開催や、女性個人の意識醸成のための女性個人対象セミナーの開催、これから働く高校生向けの講座し、多方面の方々に対し女性活躍について考える機会を設けた。更に、女性活躍に関する情報を一元的にまとめたポータルサイトをより充実させるための改修の実施や、市広報での特集記事掲載、女性活躍川柳の募集・公表で市全体の機運醸成にも努めた。 女性活躍支援員を本事業担当課に配置し、上記事業を一元的に担ったほか、機会をとらえて企業へアプローチし、女性活躍への理解促進へ向けて働きかけを行った。									
5. 事業効果及び効果検証の概要	女性活躍推進懇話会においては、ワークショップ形式での実施により、新たな視点で多彩な意見を引き出すことに繋がった。また、取り組みの成果として一般事業主行動計画の策定やえるぼし認定へ意欲を見せる企業が増加しつつあり、本市における女性活躍に対する理解が深まってきていることが伺える。女性活躍推進員による企業訪問は、女性活躍への理解を直接働きかける機会と企業側ニーズを捉える有効な手段となっている。									
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	本市においては中小企業の割合が高く、一般事業主行動計画の策定は努力義務企業が多い中、本事業の取り組みを通じて策定に取り組む企業が増加しつつある(新規2件、累計8件。他作業中2件有)。女性活躍支援員が企業へ働きかけを行った件数は延べ57件のにのぼり、その結果「えるぼし認定」に意欲を見せる企業が増加するなど、企業の意識改革が進んでいることが実感できる。									
7. 今後の課題	本市において課題として挙げられるのは、事業主の意識改革、女性自身の意識改革、家庭における男女共同参画の推進と考える。国(ハローワーク酒田)や県(庄内総合支庁)、商工会議所との連携により、企業の意識改革は少しずつ進んでいるものの、まだ十分とは言えない状況にある。また、働く女性個人の意識及び家庭での家事育児介護等への男性側の意識改革を同時に進めなければ、女性活躍の推進は難しいものとする。引き続き、女性活躍推進懇話会を通じて効果的な施策を検討し、本市が掲げる「日本一女性が働きやすいまち」の実現を目指していく。									
8. 事業の実施体制	酒田市女性活躍推進懇話会(国(ハローワーク酒田)、県(庄内総合支庁)、酒田商工会議所、女性農業者団体、地域団体関係者、有識者等)で協議の上、実施した。									
9. 経費の内訳	(単位:円)									
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付決定事業	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備考	
①	酒田市女性活躍推進事業	2(1)	4年度当初予算	3年度補正予算	3,873,634	1,936,000		1,937,634		
					0					
					0					
					0					
	合計				3,873,634	1,936,000	0	1,937,634		
10. 担当者名及び連絡先	所属部署:酒田市地域創生部地域共生課 氏名:尾形 美枝 電話番号:0234-26-5612 電子メールアドレス:chiiki-kyosei@city.sakata.lg.jp									
11. 事業実施及び連携工程	様式4-2-1に記載									

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-2-2と整合性をとって記載してください。

注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)～(5)、第4【取組例】(1)～(9)、又は第5から選択してください。

注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「3年度当初予算」、「3年度補正予算」、「4年度当初予算」、「4年度補正予算」のいずれかを記載してください。

注4)「9. 経費の内訳」の「交付決定事業」について、「3年度当初予算」、「3年度補正予算」、「4年度当初予算」、「4年度予算(予備費)」のいずれかを記載してください。

注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。

注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

事業実施及び連携工程表

市町村名:山形県酒田市

1. 事業実施工程表

事業番号	個別事業名	実施内容	事業目標(アウトプット・アウトカム)	実施時期											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	酒田市女性活躍推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍支援員による事業主への働きかけ</li> <li>日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会セミナー、メルマガ配信</li> <li>高校生・大学生への事業周知</li> <li>クリアファイルの作成</li> <li>女性活躍推進川柳の募集・公表</li> </ul>	女性活躍支援員による企業への働きかけを行う件数50件(アウトプット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業主への啓発(企業訪問・電話対応等随時)</li> <li>●メルマガ配信(計8回)</li> <li>●高校生・大学生への事業周知                             <ul style="list-style-type: none"> <li>おしごと拝見ツアーでの女活マークの説明・チラシ配布(高校3校)</li> <li>東北公益文科大学(於:副市長講義)</li> <li>就職説明会等イベントでの女活マークチラシ配布(4回)</li> </ul> </li> <li>●クリアファイルの作成、高校生向け講座・就職説明会等での配布</li> <li>●女性が働きやすい職場環境づくりに取り組む事業所へ奨励金の交付(市単独事業)</li> <li>●事業主向けセミナー(9/7開催)</li> <li>●高校生向け講座(12/15)</li> <li>●女性活躍推進川柳の募集・公表</li> </ul>											
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ポータルサイトの改修</li> <li>女性個人向けセミナー</li> </ul>	ポータルサイトアクセス数10,500(アウトプット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●女性活躍応援セミナー(7/27、9/15)</li> <li>●ポータルサイトの改修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ロールモデル紹介</li> <li>えるぼし・くるみん認定企業紹介</li> </ul> </li> </ul>											
		<ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍推進懇話会の開催</li> </ul>	懇話会開催数2回(アウトプット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●懇話会(7/29)</li> <li>●オンライン座談会(11/10) (参加は懇話会委員の中から有志のみ)</li> <li>●懇話会(2/14)</li> </ul>											

2. 連携工程表

事業番号	事業・取組名(実施主体)	事業・取組内容	交付金事業との連携内容	交付金事業との連携											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	産業振興まちづくり推進事業(酒田市)	産業振興まちづくりセンター(サンロク)において地元のニーズとシーズをマッチングすることにより産業振興、農商工連携、IT女子の育成を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の創業支援</li> <li>IT女子の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●女性の創業支援 随時</li> <li>●サンロクIT女子育成プロジェクト</li> </ul>											
	男女共同参画推進事業(酒田市) 地域少子化対策重点推進交付金一部活用	男女共同参画推進センターにおいて男女共同参画を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性の家事育児参画を目的とした各種セミナー、出前講座</li> <li>女性の悩み相談窓口</li> <li>市民アンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●男性応援セミナー(4/21)</li> <li>●出前講座(7回)</li> <li>●相談窓口 随時</li> <li>●市民アンケートの実施</li> <li>●LGBT&amp;SOGI講座(7/2)</li> <li>●家事促進講座「おとなの家庭科」(10/22)</li> <li>●家事促進講座「おとら飯」(2/18)</li> </ul>											

※2. 連携工程表には、交付金事業と連携する同一団体内で行われる事業・取組(他の国の交付金等を利用する場合は明記)、他の連携主体(協議会を構成する民間団体等)や他の地方公共団体の事業・取組を記載してください。

※適宜、行を追加してください。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分) 個別事業

市町村名:山形県酒田市

事業番号	①
1. 個別事業名	酒田市女性活躍推進事業
2. 実施期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
3. 総事業費	3,873,634円
4. 事業内容	<p><b>【女性活躍推進懇話会】</b>                  ・年2回開催(内1回はワークショップ形式)。意見交換や施策のアイデアを協議。  <b>【セミナー・講座等の開催】</b>                  ・改正育休法・パワハラ防止法に基づく事業主向けセミナーを開催。(1回)                  ・個性と能力を活かして生き生きと働くロールモデル女性を講師に迎えた女性個人向けセミナーを開催。(2回)                  ・高校生を対象とした講座の開催。(1回)  <b>【広報・周知等】</b>                  ・市独自に開設した女性活躍に関するポータルサイトの改修。ロールモデル女性や育休取得男性のインタビュー記事の掲載(4人)                  ・日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会会員を対象にメールマガジンの配信(8回)                  ・一般事業主行動計画策定済オリジナルロゴマークステッカーに代えて、事業PR用クリアファイルを作成。高校生向け講座&amp;就職説明会で配布。                  ・就職イベント・高校生向け講座等で女性活躍認定マークの周知。                  ・女性活躍推進川柳の募集・公表  <b>【企業への支援・働きかけ】</b>                  ・女性活躍支援員による企業訪問等による事業主への働きかけ。                  ・女性が働きやすい職場環境づくりに取り組む企業へ奨励金の交付(市単独)</p> <p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え及び具体的な連携主体・連携方法                  国(ハローワーク酒田)、県(庄内総合支庁)、酒田市(地域創生部、健康福祉部、企画部)、酒田商工会議所、女性農業者団体、地域団体関係者、有識者等で構成する酒田市女性活躍推進懇話会を設置し、意見交換や施策のアイデアを話し合うなど女性活躍を総合的に推進した。</p> <p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法                  周辺町の遊佐町、庄内町、三川町と庄内北部定住自立圏を形成し、本市男女共同参画推進センターの広域利用や同センター主催のセミナー参加等で連携している。</p> <p>・交付金事業間連携、他施策との連携                  産業振興まちづくり推進事業(地方創生推進交付金活用)においては、産業振興まちづくりセンター「サンロク」を開設。IT女子育成プロジェクトや創業支援員による起業したい女性に対する伴走支援を実施している。                  男女共同参画推進事業(地域少子化対策重点推進交付金活用)においては、家事促進講座「大人の家庭科」を開催し、家庭でのジェンダー平等に対する意識啓発を行った。</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定とえるばし認定取得にも意欲を持つ企業が増加し、本事業を通じて企業の意識改革と行動変容に繋がっていることが伺える。しかしながら、女性個人の意識及び家庭における男女共同参画の意識改革も同時に進めないとならざる加速は難しいものと考え。また、女性活躍に取り組むリットとして優秀な人材の確保を求める企業が多く、若い世代に対して取り組みをアピールしていく事が、結果的に企業の女性活躍推進に繋がるものとも考える。引き続き効果的な施策を検討し実施していく。</p>
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>女性活躍支援員が企業訪問等による働きかけを行った件数は延べ57件、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を新規届出件数2件、令和5年3月24日現在の累計は8件、更に作業中が2件あり(全て努力義務企業)、目標は概ね達成できたと考える。</p>
7. 今後の課題	<p>本市において課題として挙げられるのは、事業主の意識改革、女性自身の意識改革、家庭における男女共同参画の推進と考える。国(ハローワーク酒田)や県(庄内総合支庁)、商工会議所との連携により、企業の意識改革は少しずつ進んでいるものの、まだ十分とは言えない状況にある。また、働く女性個人の意識及び家庭での家事育児介護等への男性側の意識改革を同時に進めなければ、女性活躍の推進は難しいものと考え。引き続き、女性活躍推進懇話会を通じて効果的な施策を検討し、本市が掲げる「日本一女性が働きやすいまち」の実現を目指していく。</p>

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2)本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。